エコアクション２１

環境経営レポート

馬込川公園（浜松市中区上島）

共栄建設株式会社

（対象期間）　令和4年7月1日～令和5年6月30日

令和5年10月15発行

目　次

1　環境経営方針　1ﾍﾟｰｼﾞ

2　組織の概要と対象範囲　2ﾍﾟｰｼﾞ、3ﾍﾟｰｼﾞ

3　環境経営目標とその実績　4ﾍﾟｰｼﾞ、5ﾍﾟｰｼﾞ
6ﾍﾟｰｼﾞ、7ﾍﾟｰｼﾞ、
8ﾍﾟｰｼﾞ　9ﾍﾟｰｼﾞ

4　環境経営計画と取組の評価　10ﾍﾟｰｼﾞ　11ﾍﾟｰｼﾞ

5　環境関連法規等の遵守状況の確認及び
評価の結果並び違反、訴訟等の有無　12ﾍﾟｰｼﾞ

6　代表者による全体評価と見直し　13ﾍﾟｰｼﾞ

馬込川公園（浜松市中区上島）

1　環境経営方針

基　本　理　念

共栄建設株式会社は、社名のとおり共に栄える社会を実現するため社員全員で環境負荷削減に努め、循環型社会を目指す企業として活動していきます。

基　本　方　針

当社は自主的、積極的に環境経営に取組み、継続的な環境負荷の削減を目指し以下の活動を推進します。

- 省エネの推進により二酸化炭素の排出量の削減に努めます。
- リサイクルの推進と廃棄物量の削減に努めます。
- 節水を推進し総排水量の削減に努めます。
- 環境に配慮した工事を推進し、環境経営を継続します。
- 環境関連の法律・規則等を遵守します。
- グリーン商品の購入を推進します。
- この方針は、社員に周知し社外へも公表します。

令和3年1月25日
共 栄 建 設 株 式 会 社
代表取締役　松井直人

2　組織の概要と対象範囲

組　織　の　概　要

● 事業所名及び代表者名

共栄建設株式会社　　代表取締役　松井直人

● 事業の内容及び規模

内容　：　総合建設業　静岡県知事許可　4ー2808

〔　　土木工事、とび･土工工事、ほ装工事　　〕

規模　：　売上高　582百万円(令和4年7月～令和5年6月)

従　業　員　数　　20　　名

事 務 所 床面積　　700m2

資材倉庫床面積　　58m2

● 担当者及び連絡先

環境経営管理責任者　：　営業部長　鈴木高典

事　　務　　局　：　大橋則子 、畦地加奈

所在地　　：　浜松市中区上島6－31－25

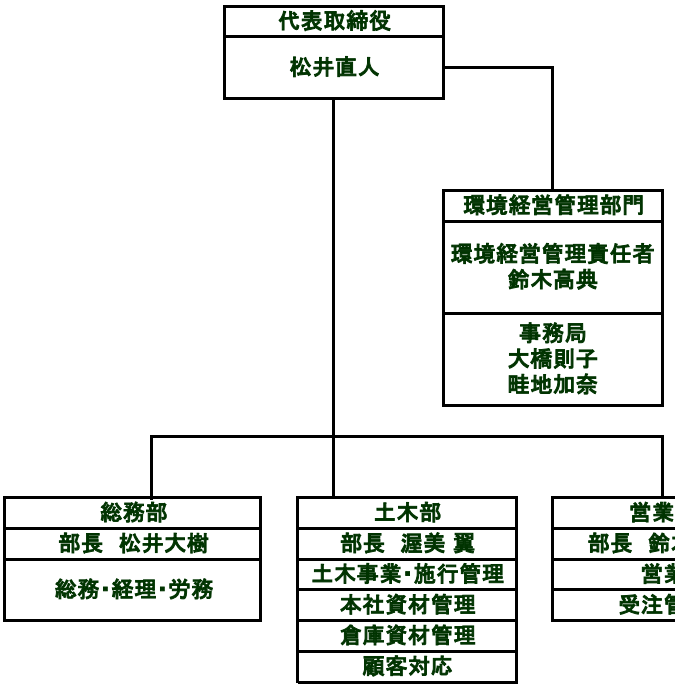
ＴＥＬ　：　053－472－8121　　ＦＡＸ　：　053－472－8160

Ｅ－Mail　：　info@kyouei38.co.jp

● 対象範囲　：　本社、資材倉庫が、全組織、全活動である。

エコアクション21　実施体制

● 組織図



● 役割

（代表取締役）
- ■ 環境経営方針の決定
- ■ 環境経営管理責任者の指名
- ■ 環境経営に必要な資源の投資
- ■ 全体の評価と見直しの実施

（環境経営管理責任者　）
- ■ 環境経営マネジメントシステムの推進・維持
- ■ 代表者への報告
- ■ 環境経営レポートの作成

（事務局）
- ■ 環境経営管理責任者の補佐

（全社・全組織）
- ■環境経営の推進

共栄建設株式会社　本社社屋

作成日：　令和5年10月10日
作成者：　環境経営管理責任者　鈴木高典

3　環境経営目標とその実績

活　動　項　目			単位	基準値	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				H30.7～R3.6	R5.7～R6.6	R6.7～R7.6	R7.7～R8.6
目　標　値				基準値	基準値 96%	基準値 94%	基準値 92%
■二酸化炭素 総排出量の削減			kg-CO2	63,515	60,972	59,698	58,433
化石燃料	事務所	ガソリン	kg-CO2	3,808	3,654	3,577	3,501
			L	1,640	1,574	1,541	1,508
		LPG(液化石油ガス)	kg-CO2	207	201.1	193	193
			kg	69.0	66	64	63.4
	現場	ガソリン	kg-CO2	23,980	23,019	22,540	22,060
			L	10,329	9,915	9,709	9,502
		軽　油	kg-CO2	22,207	21,317	20,874	20,430
			L	8,462	8,123	7,954	7,785
		灯　油	kg-CO2	0	0	0	0
			L	0	0	0	0
購買電力(事務所)			kg-CO2	8,629	8,284	8,111	7,939
			kwh	20,023	19,222	18,821	18,421
購買電力(現　場)			kg-CO2	4,684	4,497	4,403	4,310
			kwh	10,869	10,434	10,216	9,999
■一般廃棄物排出量の削減			t	0.56	0.54	0.53	0.52
■建設混合廃棄物排出量の削減			t	16.2	15.2	14.9	14.6
■水の使用量の削減			m3	158.3	148.8	145.6	142.5
■自らが施工販売・提供する製品及びサービス				基準値	目標値	目標値	目標値
自然エネルギーの利用			実施実績／現場の数	回/現場 100%	―― 100%	―― 100%	―― 100%
■環境経営				基準値	目標値	目標値	目標値
事務用グリーン商品の購入			品目	59	65	68	71
公共工事での再生資源の利用			使用現場／現場の数	回/現場 100%	―― 100%	―― 100%	―― 100%

※環境経営に配慮した工事　公共工事での評価は100%を上限として評価する
※購買電力排出係数は中部電力ﾐﾗｲｽﾞ発表(令和3年7月19日)の排出係数 0.431(kg－Co2/kwh)を使用
※LPGの消費量を「1m3＝2.07kg」と換算

作 成 日　令和5年10月10日
作 成 者　環境管理責任者　鈴木高典

運用期間中の実績と評価

活動項目			単位	基準値 H30.7～R3.6	令和4年度 R4.7～R5.6 基準値 98%	令和4年度 R4.7～R5.6 実績値	達成状況	評価
■二酸化炭素 総排出量の削減			kg-CO2	63,515	62,245	68,397	91%	×
化石燃料	事務所	ガソリン	kg-CO2	3,808	3,732	2,690	139%	○
			L	1,640	1,607	1,159		
		LPG(液化石油ガス)	kg-CO2	207	203	105	193%	○
			kg	69.0	68	35.0		
	現場	ガソリン	kg-CO2	23,980	23,500	19,261	122%	○
			L	10,329	10,122	8,302		
		軽　油	kg-CO2	22,207	21,763	30,062	72%	×
			L	8,462	8,293	11,474		
		灯　油	kg-CO2	0	0	0	——	—
			L	0	0	0		
購買電力(事務所)			kg-CO2	8,629	8,457	9,552	89%	×
			kwh	20,023	19,623	22,163		
購買電力(現　場)			kg-CO2	4,684	4,590	6,727	68%	×
			kwh	10,869	10,652	15,608		
■一般廃棄物排出量の削減			t	0.56	0.52	0.68	76%	×
■建設混合廃棄物排出量の削減			t	16.2	15.1	10.8	140%	○
■水の使用量の削減			m3	158.3	147.2	168.0	88%	×
■自らが施工販売・提供する製品及びサービス				基準値	目標値	実績値	評価	
自然エネルギーの利用			実施実績／現場の数	3回/3現場 100%	4回/4現場 100%	4回/4現場 100%	達成 100%	
■環境経営				基準値	目標値	実績値	評価	
事務用グリーン商品の購入			品目	59	62	59	未達成	
公共工事での再生資源の利用			使用現場／現場の数	3回/3現場 100%	4回/4現場 100%	4回/4現場 100%	達成	

○印は、目標を達成

※環境経営に配慮した工事　公共工事での評価は100%を上限として評価する
※購買電力排出係数は中部電力ﾐﾗｲｽﾞ発表(令和3年7月19日)の排出係数 0.431(kg－Co2/kwh)を使用
※LPGの消費量を「1m3＝2.07kg」と換算

作 成 日　令和5年10月10日
作 成 者　環境経営管理責任者　鈴木高典

次年度への取組

活　動　項　目			達成状況	取組
■二酸化炭素 総排出量の削減			91%	現場での軽油の使用が多かった。削減の啓発に取り組む。
化石燃料	事務所	ガソリン	139%	引き続き活動に努める
		LPG(液化石油ガス)	193%	引き続き活動に努める
	現場	ガソリン	122%	引き続き活動に努める
		軽　油	72%	アイドリングストップ等の燃料削減の教育に努める。
		灯　油	ー	
購買電力(事務所)			89%	エアコンの使用時間の短縮に努める
購買電力(現　場)			68%	エアコンの使用時間の短縮に努める
■一般廃棄物排出量の削減			76%	コピー用紙のペーパーレスに努め、紙の削減をはかる
■建設廃棄物排出量の削減			140%	引き続き活動に努める
■水の使用量の削減			88%	節水の意識向上のため注意書面を掲示する
■自らが施工販売・提供する製品及びサービス				
自然エネルギーの利用			達成 100%	引き続き活動に努める
■環境経営				
事務用グリーン商品の購入			未達成	ほとんどの商品が再生品に置き換わっているが、 再度製品の見直しをする。
公共工事での再生資源の利用			達成	引き続き活動に努める

作 成 日　　令和5年10月10日
作 成 者　　環境経営管理責任者　鈴木高典

活　動　項　目			単位	令和2年度	令和1年度	平成30年度	3年間の平均値を基準年とする
				実績値	実績値	実績値	実績値
■二酸化炭素 総排出量の削減			kg-CO2	59,508	70,856	68,081	66,147
化石燃料	事務所	ガソリン	kg-CO2	3,004	3,946	4,473	3,807
			L	1,294	1,700	1,927	1,640
		LPG(液化石油ガス)	kg-CO2	234	206	180	207
			kg	78.0	68.9	60.0	69
	現場	ガソリン	kg-CO2	23,640	26,744	21,504	23,963
			L	10,190	11,527	9,270	10,329
		軽　油	kg-CO2	18,798	23,858	23,858	22,170
			L	7,175	9,106	9,106	8,462
		灯　油	kg-CO2	0	0	0	0
			L	0	0	0	0
購買電力(事務所)			kg-CO2	10,112	10,075	10,927	10,371
			kwh	19,523	19,450	21,095	20,023
購買電力(現　場)			kg-CO2	3,721	6,028	7,140	5,630
			kwh	7,184	11,638	13,785	10,869
■一般廃棄物排出量の削減			t	0.64	0.50	0.53	0.56
■建設廃棄物排出量の削減			t	16.5	15.6	16.5	16.2
■水の使用量の削減			m3	161.0	158.0	156.0	158.3

※注1　事務所ガソリン　　事務所、車両台数が減った為の減少であるため、基準値を直近3ヵ年平均とする。

※注2　購買電力(現　　現場条件により電気使用量が変動する為、基準値を直近3ヵ年平均とする

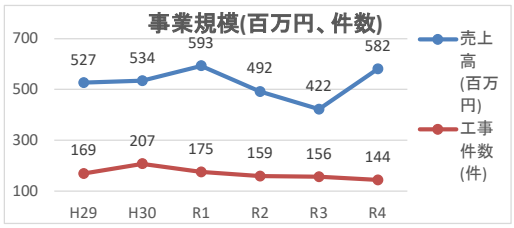
資料-1　　売上百万円当たりの環境負荷実績

令和4年10月31日
作成者　環境経営管理責任者　鈴木高曲　1/2

1)事業規模(売上・工事件数)

入力⇒

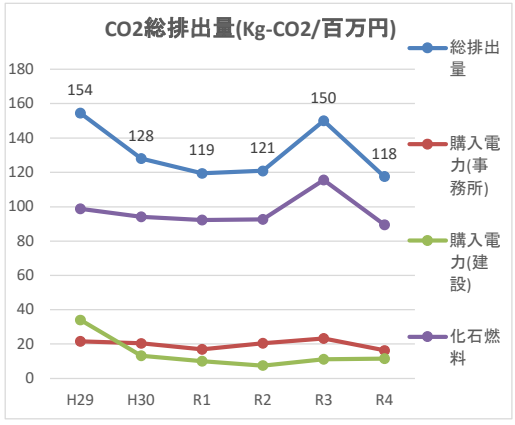
事業規模	H29	H30	R1	R2	R3	R4
売上高（百万円）	527	534	593	492	422	582
工事件数（件）	169	207	175	159	156	144
従業員数（人）	19	19	17	19	19	20



2)CO2総排出量(Kg-C02/百万円)

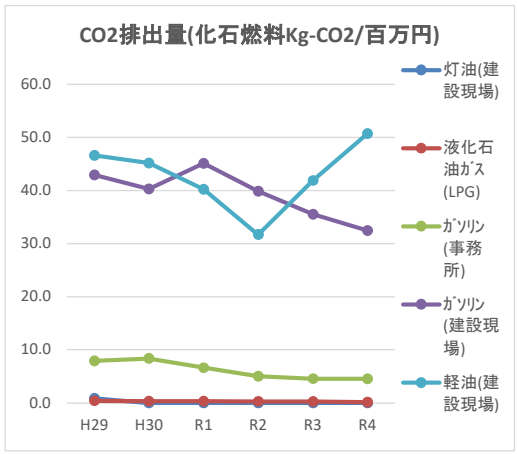
CO2排出量(Kg-C2/百万円)	H29	H30	R1	R2	R3	R4
総排出量	154	128	119	121	150	118
購入電力(事務所)	22	20	17	21	23	16
購入電力(建設)	34	13	10	8	11	12
化石燃料	99	94	92	93	116	90
総排出量(Kg-CO2)	81,393	68,359	70,856	59,461	63,372	68,397
購入電力(事務所)	11,401	10,927	10,075	10,113	9,867	9,552
購入電力(建設)	17,962	7,140	6,028	3,721	4,740	6,727
化石燃料	52,030	50,292	54,753	45,627	48,765	52,118
電力排出計数(kg-co2/kwh)	0.518	0.518	0.518	0.518	0.518	0.518

令和3年度電力排出係数(0.518kg-co2/Kwh)



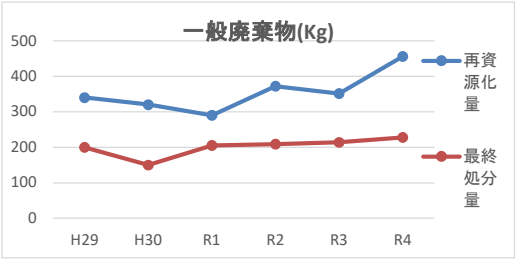
3)CO2排出量(化石燃料:Kg-CO2/百万円)

化石燃料(Kg-CO2/百万円))	H29	H30	R1	R2	R3	R4
灯油(建設現場)	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
液化石油ｶﾞｽ(LPG)	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2
ｶﾞｿﾘﾝ(事務所)	7.9	8.4	6.7	5.1	4.6	4.5
ｶﾞｿﾘﾝ(建設現場)	42.9	40.3	45.1	39.9	35.5	32.5
軽油(建設現場)	46.6	45.2	40.2	31.7	41.9	50.7
灯油(建設)(Kg-CO2)	459	0	0	0	0	0
LPG(液化石油ｶﾞｽ)(Kg-CO2)	223	180	207	189	156	105
ｶﾞｿﾘﾝ(事務所)(Kg-CO2)	4,173	4,473	3,944	3,001	2,722	2,690
ｶﾞｿﾘﾝ(建設現場)(Kg-CO2)	22,619	21,521	26,744	23,640	21,052	19,261
軽油(建設現場)(Kg-CO2)	24,557	24,118	23,858	18,797	24,835	30,062
計	52,030	50,292	54,753	45,627	48,765	52,118



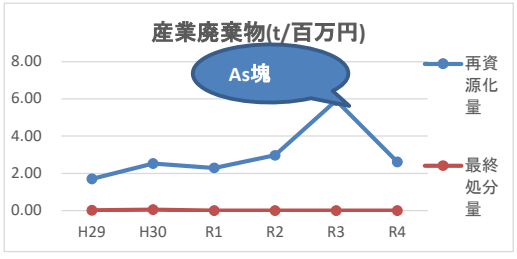
4)一般廃棄物(Kg)

一般廃棄物(Kg)	H29	H30	R1	R2	R3	R4
再資源化量	340	320	290	372	352	456
最終処分量	200	150	206	209	214	228
計	540	470	496	581	566	684



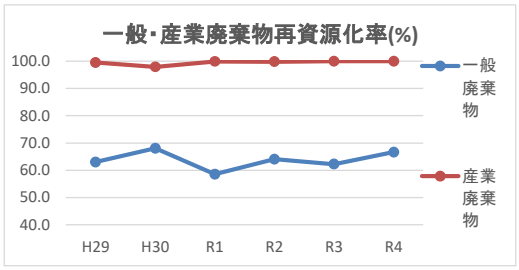
5)産業廃棄物(t/百万円)

産業廃棄物(t/百万円)	H29	H30	R1	R2	R3	R4
再資源化量	1.71	2.52	2.30	2.97	5.92	2.62
最終処分量	0.01	0.06	0.00	0.01	0.00	0.00
再資源化量(t)	901	1,347	1,363	1,460	2,497	1,524
最終処分量(t)	4.7	29.5	1.7	2.9	1.6	0.9
計	906	1,377	1,364	1,463	2,499	1,525



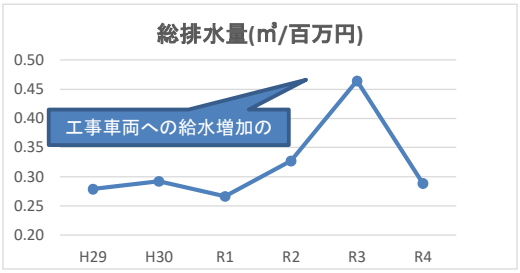
6)一般・産業廃棄物再資源化率(%)

再資源化率(%)	H29	H30	R1	R2	R3	R4
一般廃棄物	63.0	68.1	58.5	64.1	62.2	66.7
産業廃棄物	99.5	97.9	99.9	99.8	99.9	99.9



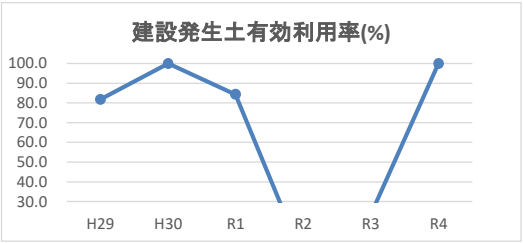
7)総排水量、水使用量(㎥/百万円)

総排水量・水使用量	H29	H30	R1	R2	R3	R4
総排水量(㎥/百万円)	0.28	0.29	0.27	0.33	0.46	0.29
水使用量(㎥/百万円)	0.28	0.29	0.27	0.33	0.46	0.29
総排水量(㎥)	147	156	158	161	196	168
水使用量(㎥)	147	156	158	161	193	168



9)建設発生土 有効利用率(%)

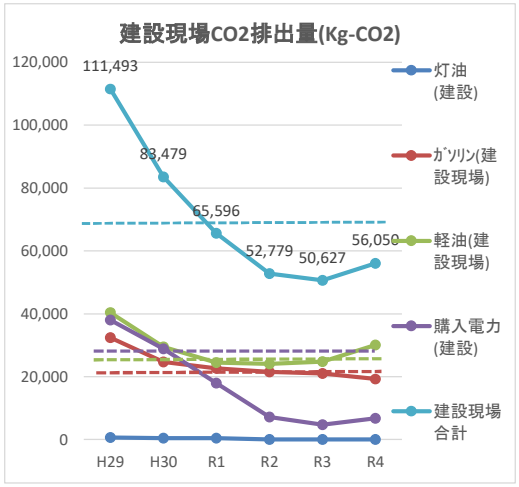
建設発生土	H29	H30	R1	R2	R3	R4
有効利用率(%)	81.8	100.0	84.3	0.8	23.6	100.0
発生量(t)	6,400	4,630	2,190	5,609	2,032	2,352
再使用量(t)	5,232	4,630	1,190	46	480	0
ストック量(t)	0	0	656	0	0	2,352
埋立等使用量(t)	4,800	0	772	5,563	1,552	0



10)建設現場CO2排出量

建設現場 (Kg-CO2)	H29	H30	R1	R2	R3	R4
灯油　(建設)	660	459	459	0	0	0
ｶﾞｿﾘﾝ(建設現場)	32,390	24,665	22,619	21,521	21,052	19,261
軽油(建設現場)	40,397	29,509	24,557	24,118	24,835	30,062
購入電力(建設)	38,046	28,846	17,962	7,140	4,740	6,727
建設現場合計	111,493	83,479	65,596	52,779	50,627	56,050

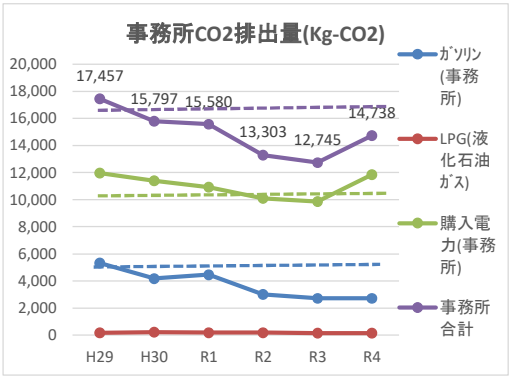
		目標値	R4実績	評価
目標値:令和4年度標準値	建設現場合計	49,853	56,050	×
	灯油(建設現場)	0	0	–
	ｶﾞｿﾘﾝ(建設現場)	23,500	19,261	○
	軽油(建設現場)	21,763	30,062	×
	購入電力(建設現場)	4,590	6,727	×



11)事務所CO2排出量

事務所 (Kg-CO2)	H29	H30	R1	R2	R3	R4
ｶﾞｿﾘﾝ(事務所)	5,319	4,173	4,473	3,001	2,722	2,723
LPG(液化石油ｶﾞｽ)	167	223	180	189	156	156
購入電力(事務所)	11,971	11,401	10,927	10,113	9,867	11,859
事務所合計	17,457	15,797	15,580	13,303	12,745	14,738

		目標値	R4実績	評価
目標値:令和4年度標準値	事務所合計	12,392	14,738	○
	購入電力(事務所)	8,457	11,859	×
	ｶﾞｿﾘﾝ(事務所)	3,732	2,723	○
	LPG(事務所)	203	156	○



令和5年10月10日
作成者　環境経営管理責任者　鈴木高典

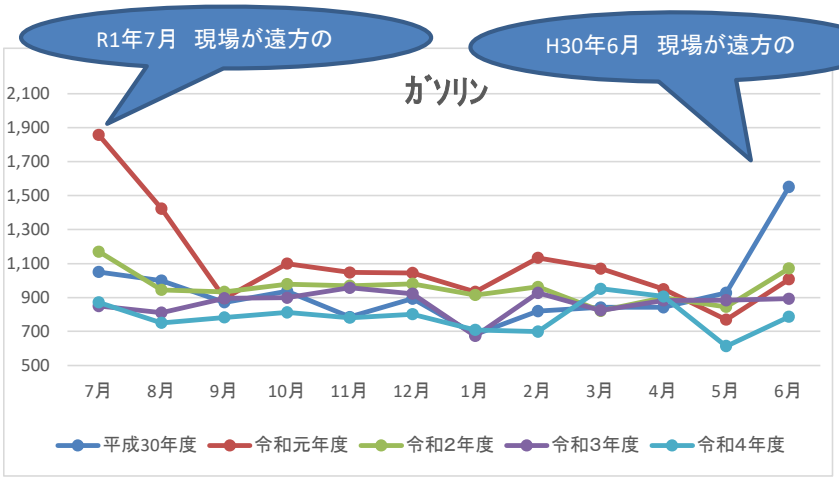
燃費(ｶﾞｿﾘﾝ、軽油)

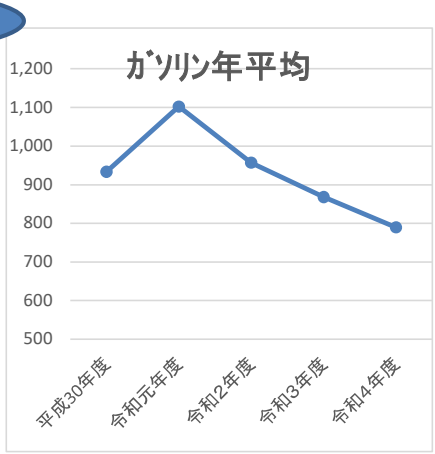
単位:L(ﾘｯﾄﾙ)

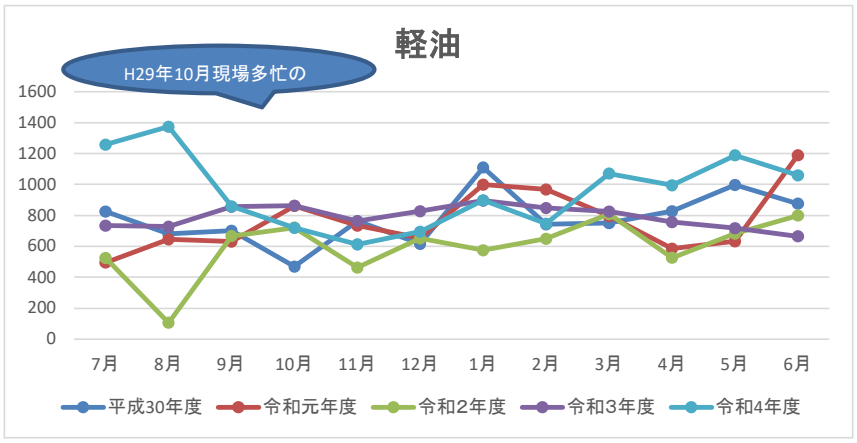
ｶﾞｿﾘﾝ	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	年平均
平成30年度	1,050	1,000	872	937	785	893	683	820	841	841	927	1,551	933
令和元年度	1,857	1,422	896	1,100	1,048	1,045	932	1,134	1,069	949	768	1,007	1,102
令和2年度	1,170	944	933	979	968	980	914	962	821	898	845	1,071	957
令和3年度	849	811	896	898	957	922	673	926	824	882	883	892	868
令和4年度	871	751	782	812	780	801	709	699	951	905	613	787	789

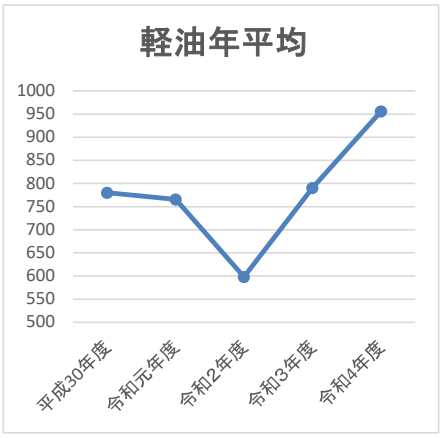
単位:L(ﾘｯﾄﾙ)

軽油	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	年平均
平成30年度	825	681	701	469	763	616	1110	742	751	828	997	877	780
令和元年度	495	646	630	862	734	653	998	967	797	585	632	1189	766
令和2年度	524	106	667	721	463	652	576	649	810	526	683	799	598
令和3年度	734	728	856	863	763	828	896	848	825	757	718	665	790
令和4年度	1257	1373	859	720	613	694	898	747	1071	995	1188	1059	956









4 環境経営計画と取組の評価

● 運用期間 令和3年7 月～令和7年 6 月

経　営　項　目		責任者	活動期間	評価	コメント
■二酸化炭素排出量の削減					
化石燃料	アイドリング・ストップ推進	車両使用者（現場監督）	通年	○	継続実行
	急加速・急発進の禁止		通年	○	継続実行
	タイヤ空気圧の点検		給油時	○	継続実行
	Co2の発生の少ない車両（電気、ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ、軽自動車）の導入	環境経営管理責任者 鈴木高典	通年	○	継続実行
	排ガス規制対応、省エネ対応された建設重機の使用		通年	○	継続実行
	車内エアコンの温度設定（強弱）を下げる		夏季・冬季	○	継続実行
購買電力	必要のない照明の消灯	総務部 大橋則子	通年	○	継続実行
	長期間使用しない電気機器のスイッチオフ		通年	○	継続実行
	室内エアコンの温度設定（夏期28℃　冬期20℃）		夏季・冬季	○	継続実行
	エアコンフィルター定期清掃	総務部 松井大樹	夏季・冬季	○	継続実行
	太陽光発電導入の実施（工事用規制用看板等）		年1回	○	継続実行
	LED照明の導入		年1回	△	継続実行
■廃棄物排出量の削減					
コピー用紙裏面の利用推進		総務部 大橋則子	通年	△	継続実行
書類の電子化によりペーパーレス化を推進		総務部 松井大樹	通年	○	継続実行
廃棄物を産廃BOXへ投入する前に分別する意識の向上		土木部 渥美　翼	通年	○	継続実行
■総排水量の削減					
水を流したまま作業をしない		総務部 大橋則子	通年	△	継続実行
節水のため、張り紙等で意識向上を促す			通年	○	継続実行
散水ホースへストップガンの取付		環境経営管理責任者 鈴木高典	通年	○	継続実行
■自らが施工販売・提供する製品及びサービス					
再生資材（再生アスファルト、再生砕石、高炉生コン等）の使用		土木部 渥美　翼	通年	○	継続実行
太陽光発電等を利用した規制、誘導看板等の使用		土木部 渥美　翼	作業期間	○	継続実行
■環境活動					
文具等のグリーン購入の実行		総務部 大橋則子	通年	○	継続実行
公共工事での再生資源の利用		土木部 渥美　翼	通年	○	継続実行
■環境教育					
環境に対する意識・知識を高める		環境経営管理責任者 鈴木高典	年1回以上	○	継続実行
■環境上の緊急対策					
緊急事態の想定訓練を実施し検証する		環境経営管理責任者 鈴木高典	年1回以上	○	継続実行

※評価　達成：○　継続：△　見直し：×

作 成 日　令和5年10月10日
作 成 者　環境経営管理責任者　鈴木高典

地域貢献活動　道路清掃

5 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1)環境関連法規の遵守状況

法規・条例・規制	条　項	適用内容または規制基準値	実施事項	確認者氏名	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第三条	事業者の責務	事業に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	松井大樹	○
	第十二条 施行令第六条の二 （運搬、処分等の委託の基準）	廃棄物排出事業所との委託契約	運搬委託、処分等の委託契約(書)の締結	松井大樹	○
	第十二条の三 （産業廃棄物管理表）	マニフェストの保管	5年間保管(A、B2、D、E票)	松井大樹	○
		マニフェストの管理	発行と期間内返却	松井大樹	○
	第十二条第9項等	産業廃棄物多量排出事業者(1年度に1,000tを超える)に該当する場合	「産業廃棄物の減量と処理の計画」及び「計画の実施状況」を作成し、許可権者に報告する	松井大樹	○
	施行規則第八条 （産業廃棄物保管基準）	保管場所への掲示	縦横60cm×60cm以上の掲示版	加藤隆久	○
	第6条	産業廃棄物の収集、運搬、処分等の基準	水銀使用製品保管場の仕切り、表示、委託契約「水銀含有」	松井大樹	該当なし
浜松市産業廃棄物の適正な処理に関する条例	第4条	事業者の責務	産業廃棄物の適正な処理、従業員に対し廃棄物の適正な処理に関する教育を行う	松井大樹	○
		ﾏﾆｭﾌｪｽﾄの集計と手届出義務	マニフェストの年間集計と浜松市長への報告 (毎年6月30日までに提出)	松井大樹	○
	第10条	委託先の現地状況確認	確認記録作成	松井大樹	○
建設リサイクル法 ⇒注1.	第5条	建設業を営む事業者の責務	建築資材廃棄物の発生の抑制、分別解体等、建設資材廃棄物の再資源化等に要する費用の低減	松井大樹	○
	第10条	対象建設工事の届出義務	対象建設工事(建設物床面積合計80㎡、建設物以外請負金額500万円以上の解体工事)計画書・実績報告	松井大樹	該当なし
騒音規制法	第14条	特定建設作業の届出	指定地域・時間帯規制	現場監督	該当なし
振動規制法	第14条	特定建設作業の届出	指定地域・時間帯規制	現場監督	該当無し
家電リサイクル法 ⇒注3.	第6条	事業者及び消費者の責務	特定家庭用機器の長期間使用と廃棄物排出抑制、収集・運搬、再商品化と料金支払い(テレビ・冷蔵庫、ﾕﾆｯﾄ型ｴｱｺﾝ、 他)	松井大樹	該当なし
PCリサイクル法		ＯＡ機器の収集	自社のパソコン・モニタ他、ﾒｰｶｰ回収への協力	松井大樹	該当なし
自動車 リサイクル法 ⇒注2	第5条	自動車所有者の責務	なるべく長期間使用、使用済自動車の抑制と再資源化	松井大樹	○
	第73条	再資源化預託金	再資源化預託金を資金管理法人に預託	松井大樹	該当なし
フロン排出抑制法	第16条	第一種特定製品の簡易点検・定期の実施及び記録の保管	第一種特定製品は、3か月に1回以上の頻度で簡易点検を行う。また、指定された製品等については定期点検を行う。 実施記録は、保管する。	鈴木高典	○
	第42条	特定解体工事元受け業者の確認及び説明	業務用冷凍空調機の有無確認と説明	松井大樹	該当なし

(2)環境関連法規等の遵守状況

※法令が遵守されている場合・・・ ○

遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

法令が対象にならない場合・・・該当なし

(3)違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟は過去3年間ありませんでした。

注1. 建設リサイクル法　　建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律

注2. 自動車リサイクル法　　使用済自動車の再資源化等に関する法律

注3. 家電リサイクル法　　特定家庭用機器再商品化法

注4. フロン排出抑制法　　ﾌﾛﾝ類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律

作成日　令和5年10月10日　作成者　環境経営管理責任者　鈴木高典

6 代表者による全体評価と見直し

環境経営管理責任者より代表者への報告

項　　目		確認 （必要に応じてコメントを記載）
1	エコアクション21文書	☑ 継続します。
2	環境経営目標及び目標達成状況	☑ 全体的には目標達成が出来てません。日々努力をお願いします。
3	環境経営計画及び取組実施状況	☑ 環境経営が推進されています。
4	環境関連法規及び遵守状況	☑ 遵守出来ました。
5	外部コミュニケーション・対応記録	☑ 該当案件はありませんでした
6	問題点の是正・予防措置の実施状況	☑ 該当案件はありませんでした。
7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部行動	☑ 該当案件はありませんでした。
8	問題点の是正・予防措置の実施状況	☑ 該当案件はありませんでした。

代表者による評価と見直し

項　　目		変更の必要性	「有」の場合の指示事項等
1	環境経営方針	有　・　(無)	
2	環境経営目標・計画	有　・　(無)	
3	環境経営計画・取組項目	有　・　(無)	
4	環境経営に関する組織	有　・　(無)	
5	その他環境経営システム要素	有　・　(無)	
6	その他	有　・　(無)	

代表者による全体評価・コメント

・地球の温暖化は夏の気温の上昇・長期化により、身近に感じられるようになっています。
エコアクション21を通じて、地球環境に優しい企業として活動を進めていきたいと思います。
今年度の環境活動の結果は、若干残念なものになりましたが来年度は少しでも環境に寄与できるように努力しましょう。

令和5年10月13日
共 栄 建 設 株 式 会 社
代表取締役　松 井 直 人